

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」

設立に向けてのタイムテーブル（高谷試案 III）

戦争遺産フォーラムくまもと事務局

「ピースくまもと（仮）」の目指すもの

県民一人ひとりが主役の「県民運動」として広げる！

- (1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する「熊本空襲資料館」
- (2) 熊本の戦争遺産を訪ねる「ダークツーリズム」資料館
- (3) 次の世代が「学び！ 体験し！ ヒトに伝える！！」戦時資料館

タイム テーブル	戦争遺産フォーラム くまもと	新老人の会 「戦争を語り継ぐ会」	備考
平成29年 12/17	第18回戦争遺産 フォーラムくまもと 事務局会	各月例会 演劇公演準備・練習	
平成30年 2月	第19回戦争遺産フォーラムくまもと事務局会		
3月	<p>「戦争遺産フォーラムくまもと」・新老人の会 「戦争を語り継ぐ会」合同研修会・例会 平成30年3月24日（土）午後2時から、 国際交流会館5階・大広間A・50人程度 ○両会活動報告・基本方針説明・意見交換</p>		賛同者・業、書、 賛同企趣意、 活動方針・ 活動拠点、 活動資金 等
	<p>くまもと戦跡ネットHPでの活動発信 ①くまもと戦跡ネット会活動等と併記して ②戦争遺産フォーラムくまもと「上村真理子さん 戦時資料室」で、現在111点を紹介。 ③個人参加会員三隅康資さんの「平和への発言」掲 載 ④その他の方々の平和・資料館への発言</p>		設立準備委 員会の活動と 概要紹介と同 発信、賛同 者の広がり へ
設立準備委員 会・作業 部会 1月14日 2月下旬 4月下旬 5月初旬 5月下旬	戦争と平和のミュージアム 「ピースくまもと（仮）」設立準備会の発足 平成30年5月13日（日）午後2時から、 「パレア」第1会議室・120人 ○基本方針説明・ワークショップ開催 ○事務局体制（案） ○具体活動（案）		署名活動 設置募金活 動 事務局整備

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立

問い合わせ先・連絡先
戦争遺産フォーラムくまもと
(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生
自宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
TEL&FAX 0968 74-5030
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと(仮)」設立骨子(案)

戦争遺産フォーラムくまもと事務局

1 熊本に、戦争と平和のミュージアム設立に向けて

本会「戦争遺産フォーラムくまもと」は、熊本県内各地で空襲・戦災の調査・検証や慰霊を、そして戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行う8団体の情報交換会としてスタートしました。平成27年5月から本名称に変更し、活動に協賛される個人にもご参加いただき、県内各地にその活動を広げました。

戦後70年の節目となる平成27年8月9日、県民に「熊本空襲の実相」を知っていた多くの方々に、県内戦争遺跡や戦時資料を知っていただく機会となりました。戦後70年米軍資料から熊本空襲を考える！を、地域で平和活動を行っている事業所「生活協同組合くまもと」と共催し、多くの共感を得ました。また同年7月、熊本日新聞社・RKK熊本放送・熊本市が主催した「平和のバトン展」では、郷土の戦争遺跡・遺物等の展示、「県内戦争遺産を巡る旅」三コースの証言者・案内人として、多くの県民の方々に、県内戦争遺跡や戦時資料を知っていただく機会となりました。

平成28年熊本地震以降は、戦争遺跡の復旧・復興を丁寧に進めながら「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の集大成として「熊本に、戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと(仮)”」設立に向け活動を進めてきました。戦後72年、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、県民運動として、次世代に語り継ぐ事が急務です。各団体から参加の事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を行い、その協議結果を本骨子案として提案いたします。

2 「ピースくまもと(仮)」の目指すもの

(1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する「熊本空襲資料館」

- ①熊本空襲の被害の実態を調べ、記録し、語り継ぐ場
- ②犠牲者の慰霊の場
- ③平成7年熊本市平和都市宣言にそって行政の公式慰霊行事につなげる場

(2) 熊本の戦争遺産を学ぶ「ダークツーリズム」資料館

- ①県内の戦争遺産(戦争遺跡や戦時資料、地域づくり)の情報発信基地、戦争遺産観光ガイダンス施設
- ②ダークツーリズムとは、戦跡や被災地など地域の負の遺産を観光対象とする欧州で提唱され、娯楽的ツーリズムの視点とともに学びや相互理解をめざし、「人類の悲しみを継承し、亡くなった方々とともに追悼する旅」の事。具体的にはアウシユビッツ・広島原爆ドーム・沖縄南部戦跡の事例。

(3) 次の世代が「学び！ 体験し！ ヒトに伝える！！」戦時資料館

- ①証言や語りを通して次の世代が、熊本の戦争の実相を学ぶ場、平和学習の場
- ②県内資料、所蔵資料をバーチャルミュージアムとして発信
- ③5,000点に及び戦時資料を通し、ユングマンプロジェクト等の体験学習にもからめ次の世代に語り継ぐ場
- ④次世代の子ども達が「Peace Messengers」として発信する場

3 「県民運動」として広げる！

- (1) 新老人の会「戦争を語り継ぐ会」と「戦争遺産フォーラムくまもと」を母体に両会の確認、活動の分担、他団体への広がり協力、タイムテーブル案提示
- (2) 戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと(仮)」設立準備会の発足に向けて賛同者・賛同企業、活動趣意書、活動方針・活動拠点、活動資金等
- (3) くまもと戦跡ネットHP (<http://www.kumamoto-senseki.net/>) での活動発信
 - ①くまもと戦跡ネット会活動等と併記して
 - ②戦争遺産フォーラムくまもと「上村真理子さん 戦時資料室」で、現在111点を紹介。また、個人参加会員三隅康資さんの「平和への発言」も掲載
 - ③設立準備会の活動概要紹介と発信、賛同者の広がりへ

(4) その他

- 設立準備委員会・作業部会による事前協議、各種資料準備、論点整理、設立に向けての諸準備
- その他

問い合わせ先・連絡先
戦争遺産フォーラムくまもと
(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生
自宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
TEL&FAX 0968 74-5030
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp